

## 4号機 燃料プール内での異物確認について

平成 19 年 2 月 28 日

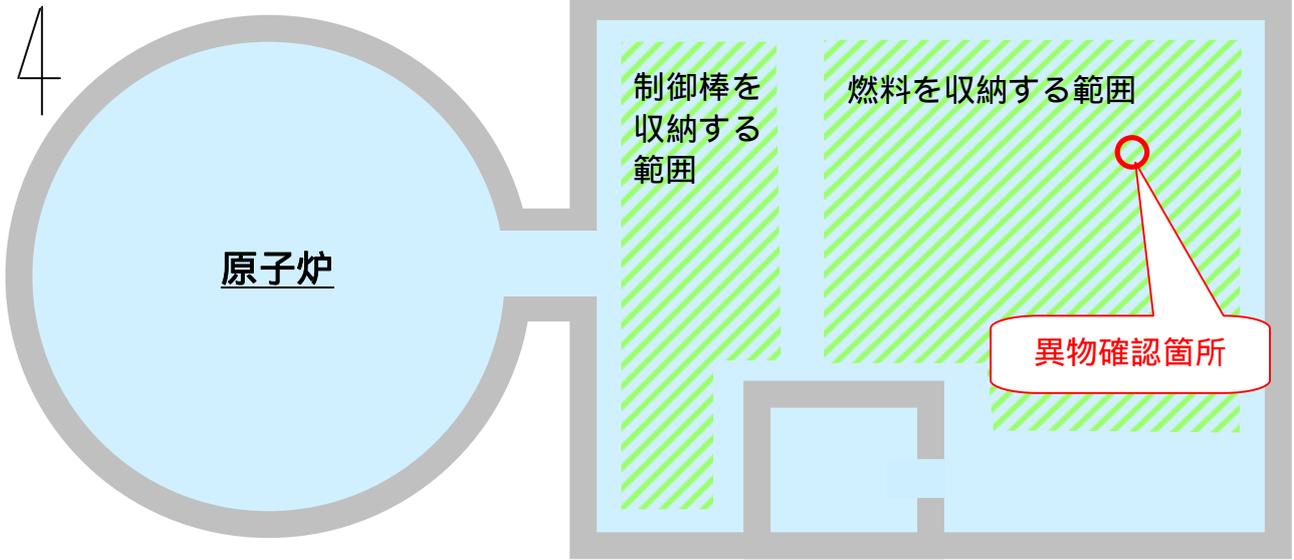
発生号機	4号機（定格熱出力一定運転中） ：沸騰水型、定格電気出力113.7万キロワット
発生年月日	平成19年2月28日
発生時の状況	原子炉建屋4階(放射線管理区域内)において、新燃料に係わる検査を実施していたところ、午前11時30分頃、燃料プール(1)内にひも状の異物(約10cm)があることを当社社員が確認しました。 現在、確認された異物の回収作業を行っています。
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありません。 また、作業員等への被ばくはありません。
原因	過去に、燃料プール周辺で実施した作業で、燃料プールに落下したものと推定されます。
<a href="#">お知らせ基準</a>	「表2-8」に該当します。

1 燃料プールは使用済燃料や使用済制御棒等を貯蔵するための設備です。

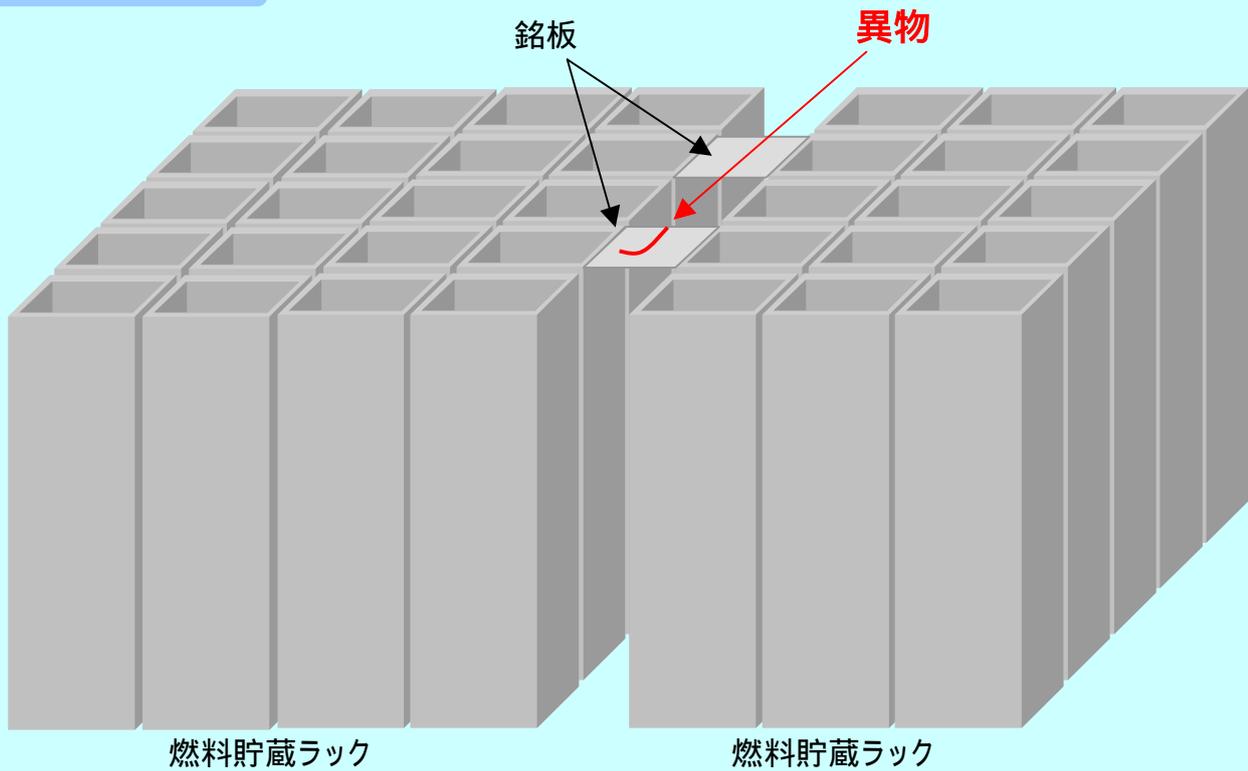
以上

## 燃料プール内の配置と異物確認箇所

燃料プール



## 異物確認箇所



燃料貯蔵ラックの位置を示すために取り付けられている銘板の上で、異物を確認しました。